

各位

第十回日本新薬こども文学賞 制作絵本 「おふろにはいるときは」が完成

日本新薬株式会社（本社：京都市南区 社長：前川重信）は、第十回「日本新薬こども文学賞」において、絵と物語を全国から広く募集し、数多く寄せられた作品のなかから選出した最優秀賞を絵本として制作、このほど完成いたしました。

制作した「おふろにはいるときは」は、物語部門の応募数 617 点の作品から、最優秀賞を受賞した、谷本美弥子さん（66 歳：広島県在住）の物語に、絵画部門の応募数 202 点のなかから、「よるのあしおと」で最優秀賞を受賞した、みたにゆきひこさん（75 歳：東京都在住）が絵をつけた絵本です。



みたにさん（左）と谷本さん。10月8日開催の表彰式にて

絵本完成にあたり 10月8日（月・祝）にロームシアター京都において開催した表彰式で、物語を書いた谷本さんは「自分が描いた作品に絵をつけてもらえる喜びを知った。これからも物語を書いていきたい」、絵を描いたみたにさんからは「実際にお風呂に入りながらいろいろと考えて描いた絵。絵を描くことは裏方の仕事だと思っていたが、自分の名前が表に出て不思議な気持ち」とそれぞれ受賞の喜びを語りました。

[ダウンロードはこちらから](#)

完成した絵本は、3万冊が全国の小児科医院などの医療機関や図書館などの公共施設を通じて、広く子どもたちのもとに届けられます。

「日本新薬こども文学賞」は、絵本を通じて、未来を担う子どもたちの“ゆめ”を彩り、健やかな“こころ”の成長を見守りたいとの当社の願いから、日本児童文芸家協会の後援を得て2009年に創設したものです。

日本新薬では、今後もこの活動を可能な限り継続することで、未来を担う子どもたちを応援してまいります。

●絵本の概要



絵本『おふろにはいるときは』

[ダウンロードはこちらから](#)

温泉に一人で入ることになったぼく。脱衣所で服を脱いでいると、入ってきたのはなんとライオンです。次々と脱衣所に現れ毛皮や耳つきぼうしを脱ぐ動物たちと、ぼくは・・・

文：谷本 美弥子

絵：みたに ゆきひこ

体裁：24×18cm、本文 18 ページ、4 色刷り（非売品）

絵本は、「日本新薬こども文学賞」の WEB サイトでも読み聞かせの音声付で閲覧できます。

【絵本の贈呈などの問い合わせは下記まで】

日本新薬株式会社 広報部「日本新薬こども文学賞」係

TEL：075-321-9177

以上